

受 理 番 号	陳情第39号
件 名	広島市立認定こども園を幼稚園型として整備し、計画されている拠点園とは別に市立幼稚園を数園残すことを検討することについて
要 旨	広島市の公立園・学校の連携教育研究推進と、幼稚園から高等学校までの多様なこどもの実態に応じた教育の実践、個別最適な学びの充実を図るため、また、地域全体でこどもを育て、親育ち支援の核、特別支援教育の担い手として、市立幼稚園を存続・充実していただくとともに、認定こども園を設置するのであれば、「幼稚園型」の検討をしていただくよう連署をもって陳情する。 理由 現在、広島市では幼児教育保育ビジョンにより、幼保連携型認定こども園の設置と市立幼稚園の統廃合計画が進んでいる。 私たち保護者は、市立幼稚園の教育内容や方針に共感し、こどもの入園を決めた。 広島市立幼稚園では、ゆとりのある環境でこどもがやりたいことができる時間を十分にとり、こどもと保護者に個別に寄り添い、少しずつ園生活に慣れるよう時間を掛けてもらうことができ、こどもは安心して園生活を楽しんでいる。また、子育てに忙しい毎日の中で、幼稚園での先生や保護者同士の温かい信頼関係、園生活に参加しながら我が子と向き合うことができる時間は、子育ての喜びにつながっている。 伝統的に市立幼稚園は隣接する小学校や地域と深いつながりがあり、こどもたちは未就園児親子から高校生までの各世代や地域の人とのふれあいを体験する中で、意欲や根気、協同性、自制心、思いやり、コミュニケーション能力といった、小学校以降の学びにつながる力を身に付けている。こどもは地域に愛着を持ち、次世代の担い手として育っている。保護者は、毎日の送り迎え、役員やボランティアなどを共に経験し、互いのこどもの成長を喜び合ってきた。その関係は、学校や地域の役員をするなどのつながりにより卒園後も続いている。幼稚園、保護者、地域が一体になり、作られた市立幼稚園のコミュニティにより、こどもたちや私たち自身の親としての成長が支えられてきたと実感している。

要 旨	近年、こどもを取り巻く環境は大きく変化し、核家族化や少子化、新たな感染症の流行や、自然災害の発生など、子育て中の私たちは、不安や心配なことを常に抱えている状況である。そんな日常の中、地域とつながり、先生や保護者同士と距離の近い市立幼稚園は、特別な支援を必要とするこどもや、悩みを抱える保護者にとって、温かい信頼関係のできる場所であり相談しやすい環境、その子のペースで安心して通うことのできる環境であると思う。先生方が豊かな見取りの力を通して、一人一人のこどもを的確に支え、保護者と向き合い、地域との連携を工夫し、小規模だからこその機動性をいかし、きめ細やかな支援を続けてくれている。 学校教育法第1条に定められているとおり、幼稚園はこどもにとって初めての学校である。 私たちは、公立の学校教育を幼稚園から高等学校まで受けさせたいと望んでいる。家庭の状況やこどものニーズに応じて教育施設を選ぶことができる環境を私たちに残していただきたい。一人一人のこどもをありのまま受け入れ、保護者に寄り添い、地域と連携し、学びを見極め、個性を大切に育てるという市立幼稚園が伝統的に受け継いできた教育の在り方が、園児数減少等の課題をクリアしながら、未来に残っていくことを望んでいる。そこで、残された市立幼稚園を幼児教育研究推進や近年特にニーズの高まる特別支援教育の担い手とすることにより、個別最適な学びを進め、広島市の教育を更に充実させ、発信してほしいと思う。こどもがこどもらしくたくましく育つことができるよう、広島市の幼児教育が、これまでの伝統を継承しながら、更に充実するようにしてほしいと切実に願っている。 そのために、計画が進められている広島市の公立認定こども園には、地域の拠点として、是非、市立幼稚園で先生方が行っていたような、こども一人一人に応じた支援や地域とのつながりの深い体制を整備し、市立幼稚園の「ノウハウ」だけでなく「教育」を含めた教育環境を、広島市の大切な財産として残していつてもらいたいと思っている。先生、保護者、地域全体で園を運営し、幼、保、小、中、高の縦、横のつながりが強い公立の教育を残していただきたい。今のまま統廃合が進み、これまで積み重ねられてきた市立幼稚園の教育財産が消失することは、大変な損失なのではないだろうか。認定こども園にするのであれば「幼稚園型」の検討をお願いしたいと思う。幼稚園型であれば、幼児教育研究や特別支援教育研究を更
----------------	--

要 旨	に進めることができ、市立幼稚園教育の「ノウハウ」と「教育環境」を維持できると考えている。 また、今後予定されている拠点園について、幼保連携型認定こども園だけでなく幼稚園型認定こども園も検討をしていただくことに加えて、広島市立幼稚園を数園残し、広島市の幼児教育を更に充実させ、広く発信してほしいと思う。幼児期の教育は、生涯にわたりこどものウェルビーイングに関わる重要なものである。こどもを真ん中にした広島市らしい教育の更なる充実を進めていただき、私たち保護者がこどもに受けさせたい教育を選択することができるようにしてほしいと切実に願う。 （添付の２０，０００筆余りの署名は広島市立幼稚園を数園残し、また、幼稚園型認定こども園の設置を願う保護者や地域の人々の切なる思いを集めたものである。以上のことについて、この連署をもって陳情する。）
----------------	---